

戦没者の御霊に祈り捧げる

～北秋田市戦没者追悼式

北秋田市戦没者追悼式が8月28日、市文化会館で開かれ、参列した遺族、関係者が黙とうと献花などで戦没者の死を悼むとともに、真の平和を願いました。

追悼式は昨年まで各地区で行われていましたが、今年6月に北秋田市遺族連合会、山内清種会長が発足、統一した式典となりました。山内会長は、「国民の7割が戦後生まれとなり、戦争の記憶が風化しているが、今日の平和と繁栄の礎は多数の戦没者の犠牲の上にあることを忘れてはならない」と追悼のことは述べました。

この後、遺族らが祭壇や献花台に献花し、手を合わせて祈りを捧げました。



祭壇に献花し、手を合わせ祈りを捧げて戦没者を悼む遺族ら

太鼓のリズム楽しむ

～第6回北秋田市たかのす太鼓まつり

「第6回北秋田市たかのす太鼓まつり」が9月7日、太鼓の館野外ステージで開かれ、市内外から訪れた太鼓ファンらが、綴子太鼓の実演や婦人会の踊りなど迫力ある演奏とパフォーマンスを楽しみました。

村井松悦実行委員長代行は、「今日は、かつて町の活性化を目的に『太鼓の里づくり』に励んでいた7団体が出演する。太鼓の演奏でストレスを発散してほしい」とあいさつ。トリを取ったのは、綴子上町、下町4張りの大太鼓による合同演奏。4張り同時に演奏されるのはこのイベントのみとあって、観客は雷鳴のように響く世界一の迫力ある太鼓のリズムを楽しんでいました。



雷鳴のように響く世界一の太鼓のリズムを楽しみました

ピアノの調べに惹きこまれ

～第81回浜辺の歌音楽館演奏会

第81回浜辺の歌音楽館演奏会、中島剛ピアノコンサートが8月29日、浜辺の歌音楽館で開催され、約80人の聴衆客を前にピアノで美しい音色を奏でました。

中島さんは、ハンガリー国立リスト音楽院などで音楽を学び、現在は日本に活動拠点を移し、全国で演奏活動を展開しています。コンサートでは、ショパンの「ノクターン」嬰八短調遺作などの名曲に加え、この日が初演となった中島さんのオリジナル曲「海」あの静かな砂浜へ」など全11曲が演奏されました。聴衆客は、繊細かつ情熱的な演奏に惹きこまれ、最後の曲が演奏された後も名残を惜しむようにいつまでも大きな拍手を送っていました。



ピアノの美しい音色と調べを奏で聴衆を魅了した中島剛さん

春日キンさんの百歳を祝う

～長寿を祝い寿詞と記念品を贈呈

春日キンさん(五味堀)が9月3日、100歳の誕生日を迎え、自宅に集まった親族とともに長寿をお祝いしました。

春日さんは、1908年(明治41年)旧森吉町向様田生まれ。18歳の時に力松さんと結婚し、7人の子どもに恵まれました。数年前より米内沢地区のグループホームで生活しており、畑の草取りやラジオ体操を日課にしながら元気に過ごしています。

市より寿詞と記念品が贈られると、春日さんは、皆の世話になって長生きをすることができ、本当にありがたいと話し、長寿の秘訣を聞かれると、「とにかく働くこと。田、畑、商売と何でもしてきました」と八キハキ答えていました。



成田福祉事務所長から寿詞を受け取る春日さん

存続願う交流深める

～第2回内陸線ゴルフ交流大会

第2回秋田内陸線ゴルフ交流大会が9月1日、仙北市縄文の森たざわこで開催され、内陸線沿線から204名が参加しプレーを楽しみました。

この大会は、内陸線の利用促進と沿線市村のゴルフ・ゴルフ愛好者の健康増進及び他クラブとの交流による仲間づくりを目的として開催。参加者らは、松葉駅までを車窓の景色を楽しみながら内陸線で移動しました。

参加者は32組に分かれ競技を行い、各ホールでは一打ごとに歓声が上がって白熱したプレーが展開されました。雨上がりの後気温が上昇するなか、プレーに集中し全員が32ホールを回りきりました。



ホールインするたびに歓声が上がって白熱したプレーを展開しました

無線操縦の妙技を競う

～ラジコン飛行機日本選手権大会

ラジコン飛行機の全国大会F3A日本選手権が、8月29日から31日まで北秋の杜公園で開催され、全国の予選を勝ち抜いた40人の選手が、それぞれの愛機で妙技を競いました。

ラジコンはエンジンで実際に飛ぶ模型の飛行機を無線で操縦するもので、大会に出場した飛行機は全長1.5mほどの大型の模型飛行機です。趣味とはいっても、離陸から目的地への着陸まで宙返りや背面飛行などの曲技飛行を繰り返し、実際の飛行機さながらに空中を舞っていました。

会場には全国からラジコンファンや一般の見物客が集まり、空を見上げて飛行の様子を追いながら見事な操縦に歓声をあげていました。



全国の予選を勝ち抜いた選手が、妙技を競ったF3A日本選手権